

4. 市民ニーズ

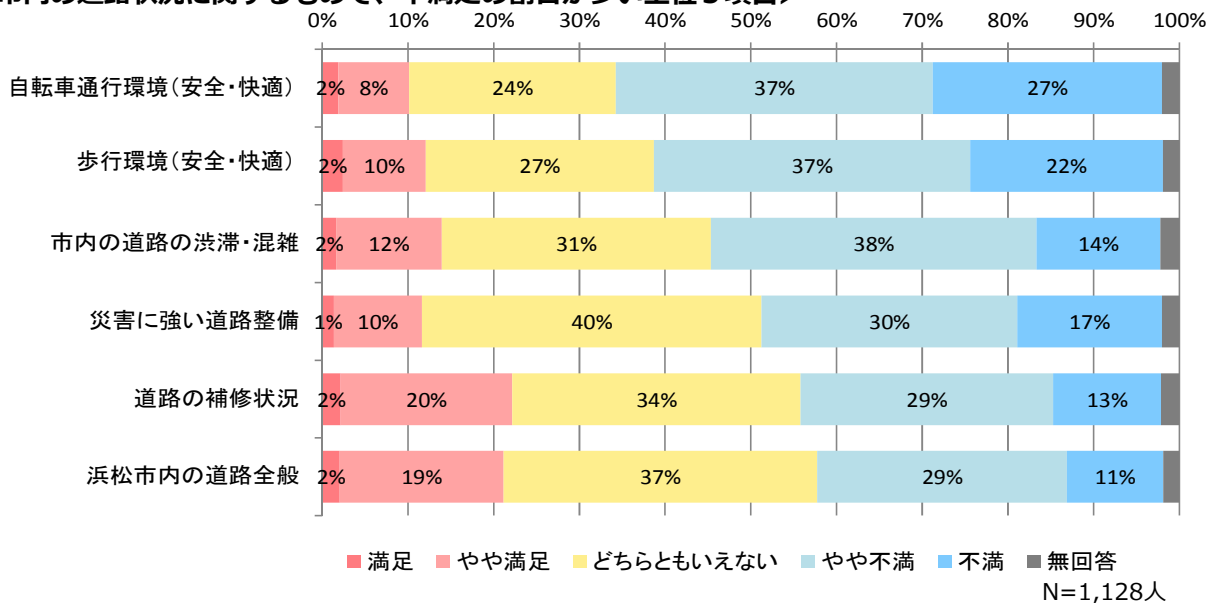
■市民アンケートの概要

・対象:18歳以上の3,000人(無作為抽出) ・実施:平成27年9月(郵送配布・郵送回収) ・有効回答数:1,128人

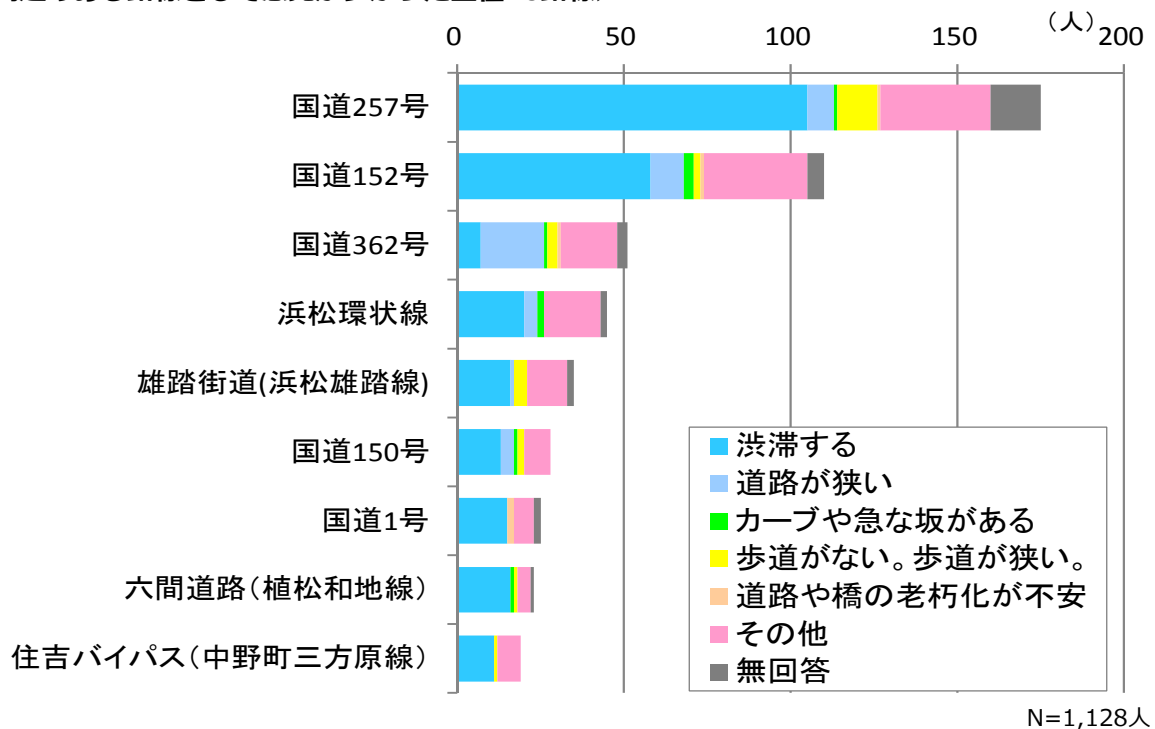
◆現状の道路整備に対する満足度

- ・ 自転車通行環境や歩行環境、道路の補修状況等、身近な生活道路に関する意見が上位に位置しています。
- ・ 道路の「渋滞」について、「災害」に関する満足度が低い状況です。
- ・ 問題のある路線として、南北交通軸を担う国道257号、国道152号の「渋滞」に関する意見が多く寄せられました。

＜市内の道路状況に関するもので、不満足の高割合が多い上位5項目＞



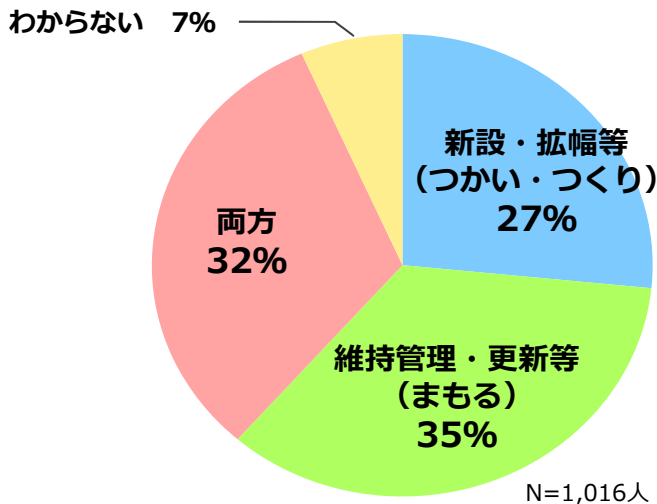
＜問題のある路線として意見が多かった上位10路線＞



◆これからの道路整備の方向性について

- これからの道路整備の方向性として、“つかい・つくり”よりも“まもる”を重視すべきとの意見がやや多くみられます。
- 新設、拡幅等の面では、渋滞のない道路や、歩行者や自転車が安全・快適に通行できる道路が求められています。
- 維持管理、更新面では、走行や歩行の安全性・快適性の維持や路面の異常・障害に起因する事故の防止等、身近な道路の維持管理が求められています。

<これからの道路整備の方向性について、重視すべきと思うもの>



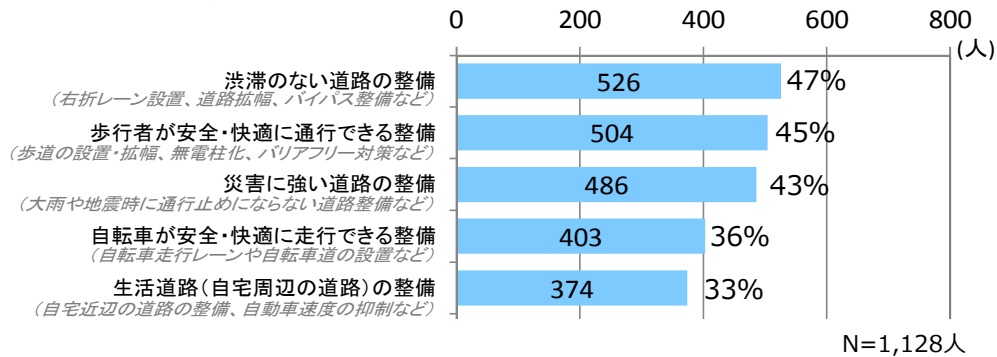
新設、拡幅等 (つかい・つくり)

例えば、バイパスの整備、車道・歩道の拡幅等を実施し、道路の使いやすさを向上させること。

維持管理・更新等 (まもる)

例えば、老朽化した橋やトンネル等の計画的な点検・修繕・架替、舗装の穴埋め、街路樹の手入れ等を実施し、道路を常に良好・安全な状態に保つこと。

<新設、拡幅等 (つかい・つくり) で求めるもの上位5項目>



<維持管理、更新等 (まもる) で求めるもの上位5項目>

